

## 『ドローン × リモセン』 シンポジウム

ドローン業界は、「空の産業革命に向けたロードマップ」の2020年のレベル4(有人地帯での目視外飛行)の実現に向けて、災害対応、物流、インフラ維持管理、測量、農林水産業等の多くの利用用途での活躍が期待されている。これら分野でのドローンの普及には、リモートセンシングの技術が欠かせなく、衛星・航空機分野で蓄積されたリモートセンシングの実績を有効活用することが重要である。そこで、本ワークショップでは、ドローンとリモートセンシングの両分野の技術者・事業者が一同に会し、技術動向を共有することで、更なる産業発展を目指す機会とする。ドローンは利用しているが、撮影した画像の分析方法が分からない方、衛星データは利用しているが、これからドローンの利用を検討されている事業者等、是非とも参加をご検討ください。

1. 日程：10月27日(金) <受付>13:00~13:30 13:30~19:30 (※懇親会を含む)
2. 場所：学士会館 320号室  
(東京都千代田区神田錦町3-28(「神保町」駅下車A9出口から徒歩1分))
3. 参加費：無料(※懇親会は4,000円)
4. 定員：150名
5. 主催：(一社)日本ドローンコンソーシアム  
共催：(一社)日本リモートセンシング学会・地球観測ビジネスコミュニティ(BizEarth)
6. プログラム(司会：産業技術総合研究所 岩田拓也)

13:30	【特別講演】産業界でのドローンの動向	JDC 会長	野波健蔵
14:30	【主催・共催機関の紹介】		
	(一社)日本ドローンコンソーシアムの紹介	JDC 事務局長	酒井学雄
	(一社)日本リモートセンシング学会の紹介	RSSJ 監事	福田徹
	地球観測ビジネスコミュニティ(BizEarth)の紹介	BizEarth 幹事代表	新井邦彦
	【休憩】		
15:15	【リモセン分野からの事例等紹介】		
	農業・生態系分野	農研機構	井上吉雄(RSSJ)
	海洋・湖沼分野	東京大学	沖 一雄(RSSJ)
	国土管理・防災分野	茨城大学	桑原祐史(RSSJ)
	「Drone2Map for ArcGIS を用いた高解像度オルソ画像生成とセンシング利用」	ESRI ジャパン	橋本(BizEarth)
	【ドローン分野からの事例等紹介】		
	「マルチスペクトルセンサーを用いた、水田及び畑作の観測事例と今後の可能性」	SkyLink Japan	渡辺一生(JDC)
16:30	パネルディスカッション：ドローン×リモセンの可能性		
	進行役：(一社)日本ドローンコンソーシアム	エンルートラボ	伊豆智幸
	パネリスト：RSSJ(農業・生態系分野)	農研機構	井上吉雄
	RSSJ(海洋・湖沼分野)	東京大学	沖 一雄
	RSSJ(国土管理・防災分野)	茨城大学	桑原祐史
	BizEarth	国際航業	新井邦彦
	JDC	SkyLink Japan	渡辺一生
17:30	懇親会		
7. CPDについて：リモートセンシング学会 CPD(3ポイント)、測量系 CPD(3ポイント)が発行可能です。CPD発行の希望者は、申込み時時にCPDの希望をご連絡ください。
8. 申し込み・問合せ先：event2017@jdc.or.jp(事務局)  
※参加者の所属、氏名、会員/非会員、懇親会への参加の可否をご連絡頂けますようお願い致します。
9. 申し込み期限：10月20日(金)